

「北海道しんきんネットワークエキシビジョン2016」開催

去る11月10日(木)、11日(金)の2日間、ニューオータニイン札幌にて、「北海道しんきんネットワークエキシビジョン2016」と題し、弊社主催による情報交換会および展示会を開催いたしました。

10日(木)は「情報交換会」として、弊社より新たなサービス等の情報提供、現況報告や未来に向けての取組み等についてご説明し、続けて金融庁よりサイバーセキュリティに関する講演を行いました。

本会には、22金庫17関連企業・団体、総勢70名のご参加をいただきました。

—情報交換会—

まず、増田社長(帯広信用金庫会長)より、情報交換会に先立ちまして、次のように挨拶がございました。



<挨拶内容>

本日は、大変お忙しいところご出席いただき誠にありがとうございます。日頃は、当社の運営につきまして格別のご支援ご協力を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、今年度も半期が終了いたしました。お陰様をもちまして主要業務もほぼ計画通りに

進捗しており、提供している各サービスの導入金庫様も順調に増加しております。仮決算の状況につきましては前年横ばいながらも引き続き安定した経営を維持していると感じております。株主金庫の皆様のご協力に、重ねて厚く御礼申し上げます。

現在の道内の景況は、ゆるやかな回復基調が続いているとされておりますが、長年にわたる少子高齢化、人口減少という構造的な課題を抱えております。これには、各地域で官民をあげて地方創生に向けての懸命な努力がなされておりますが、現状十分な効果が表れているとは申し上げにくい状況と感じます。また、道内の中小零細企業の多くが需要不足に苦しんでおり、これに加えて夏場の相次ぐ台風の上陸により、農水産物や交通インフラに甚大な被害を受けた地域もあり、全体としては厳しい景況が続いていると感じております。こうした中、道内信用金庫の経営環境は、本年2月に導入されたマイナス金利政策の影響によってかつてない逆風にさらされており、収益状況につきましては、おしなべて大変厳しい状況にあると認識しております。

当社といたしましては、こうした株主金庫の状況に少しでも役に立つよう、業務の効率化やコストダウンにつながる業務開発に努めて参る所存でございます。その一環としまして、明日は昨年同様、弊社が各金融ベンダー様と連携して提供しているサービス、各金融ベンダー様の最新金融情報システムについて展示会を開催し、ITの最新動向や、コスト削減に寄与できるような事務処理の省力化、効率化につながるシステムを道内の信用金庫の皆様にご覧いただく機会を提供したいと存じますので、是非明日も足をお運びいただければと存じます。

本日の情報交換会は、当社の現状や今後の取組み等についてご報告させていただきますとともに、昨今インターネットの普及拡大に伴い、手口もますます高度化・巧妙化しているサイバー攻撃の対策が急がれておりますことから、このサイバーセキュリティにつきまして、金融庁サイバーセキュリティ対策企画調整室の室長鈴木啓嗣様よりご講演いただきます。講師の鈴木様には遠路はるばるお越しくございましたこと、心より御礼申し上げます。本日は長丁場になりますが、是非ご協力のほどお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

引続いて、本情報交換会のプログラムの一つ目として、「Webサイトの構築について（ネットショップ用ホームページの立上げ）」と題し、弊社竹谷専務よりその趣旨・目的の説明を行いました。その後、池田取締役より、WEBサイトの立上げの流れや構築イメージの解説をし、寺澤室長代理より、当Webサイトに掲載する写真等の紹介をいたしました。



次に、「H S I Sの現状と今後～情報サービス会社の未来に向けて～」と題し、武田取締役より弊社の現況報告とともに、今後の構想・戦略等についての話がありました。また、新たなサービス展開として「Pepper for Biz」の共同利用のご提案を行い、ソフトバンクC&S(株)の



山上様からペッパーの現状について詳細な説明をいただきました。

その後、休憩をはさみ、金融庁 総務企画局 政策課 サイバーセキュリティ対策企画調整室 室長 鈴木 啓嗣様 を講師にお迎えし、「金融分野のサイバーセキュリティ強化に向けた金融庁の取組み～具体的な取組みとその進捗状況～」をテーマにご講演いただき、終盤には、金融 I S A C 理事の鎌田 敬介様に金融 I S A C の活動や加盟のメリット等についてお話をいただきました。お二人の大変貴重なお話を、ご出席者の皆様は熱心に拝聴されました。



全プログラム終了後、出席者の皆様との懇親会も開かれ、本情報交換会は盛況のうちに終了いたしました。ご出席いただきました皆様には、心より御礼申し上げます。



情報交換会風景

—展示会—

翌日11日(金)には展示会を開催いたしました。前日の情報交換会での増田社長のご挨拶のとおり、本展示会は、ITの最新動向のみならず、信用金庫経営の経費削減・節減、事務処理の省力化・効率化につながるシステムを、道内信用金庫の皆様に広くご覧になっていただくことを趣旨・目的としており、現在弊社が各金融ベンダーと連携して提供しているサービスのみならず、各金融ベンダーの最新金融情報シ

ステムについても展示、実演を行いました。

展示会当日は、前日の情報交換会と併せてお越しいただいた方も多く、道内信用金庫の役職員の皆様をはじめとする関係各所をあわせた大勢の方々に足をお運びいただき、お陰様で盛会裏に終了することができました。関係各位には、この紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。なお、今年度の展示会出展企業につきましては、下記のとおりです。

出展企業 (当社を除く 19 社)

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| ○株式会社HBA | ○ソフトバンクコマース&サービス株式会社 |
| ○NTTデータカスタマサービス株式会社 | ○株式会社テラモト |
| ○株式会社ネクストウェブ | ○トッパン・フォームズ株式会社 |
| ○株式会社NTTデータ | ○日本電気株式会社 |
| ○株式会社NTTドコモ 北海道支社 | ○NEC ネットスアイ株式会社 |
| ○沖電気工業株式会社 | ○富士通株式会社 |
| ○オムロンフィールドエンジニアリング北海道株式会社 | ○北海道グローリー株式会社 |
| ○株式会社しんきん情報サービス | ○株式会社北海道日立システムズ |
| ○大日本印刷株式会社 | ○ローレルバンクマシン株式会社 |
| ○大丸株式会社 | |



来場者で賑わう展示会場

当日は、22 信金 11 関連団体の約 80 名にお越しいただきました。



HSISブース



弊社ブースの様子。障がい者差別解消法に対応するための種々サービスをご提案いたしました。

お問い合わせ先：企画・営業推進部 TEL (011) 221-2210

相続支援システム検討会開催

去る9月29日（木）、信金中央金庫北海道支店会議室において、「相続支援システム検討会」を開催いたしました。

金庫における相続業務を系統的にサポートする本システムについては、案件の増加と共に全国的にニーズが高まっており、現在他地区においては既に多くの金融機関がシステムを導入・利用し、その傾向はますます強まっている状況にあります。

本相続業務の取扱いについては、専門知識を有する特定の人員で対応していることが多いとも言われており、相続人の確定等事務手続きに多くの時間・負荷がかかることから、本地区においても誰もが容易に相続業務に取り組めるようなシステムが欲しいとの要望をいただき、数年来、弊社開催のシステム専門委員会等を通じて検討を進めておりました。

しかしながら、検討システムの機能内容ならびに費用と各金庫のご希望とに折り合いがつかず、本検討については頓挫した状況でありましたが、昨今の状況の変化（機能や提供方法再考による費用面の向上等）もありますことから、今般改めてご協議いただき、本地区の方向性を決定させていただくため、本検討会を開催いたしました。

当日は、16金庫20名の実務担当者・担当役員、システム担当者の方にお集まりいただき、検討対象3メーカー（※）のデモンストレーション・質疑応答等を行いながら、熱心に意見交換、検討をしていただきました。

ご出席いただきました皆様には、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

（※） 検討対象メーカー



検討会の様子

WEBサイトの立ち上げ ～地域活性化支援～

金庫さんが取り組まれている地域活性化支援の一助として、弊社では金庫さんからご推薦いただいた地域の「旬の逸品やこだわりの逸品を取扱われている生産者、お店など（1金庫5～10先）をパソコン、スマートフォンなどで紹介、その商品を購入できるように現在、WEBサイトを立ち上げる準備をしております。

これは、『品質が良い商品を製造・販売しているが、販売数がなかなか増えない』『地域ではブランド化している商品（またはブランド化したい商品）を、もっと全国的に販売したい』『他のWEBサイトを検討したがコストがかかりすぎる、または、全国的な紹介の中では埋もれてしまう』『ホームページを立ち上げたがなかなか

か効果がでない』などの悩みに応えるべく、安価な出店費用でWEBサイトを利用でき、さらには①地元と連携したイベントの企画、②出展先を中心とした観光ツアーの企画、③しんきんカードと連携したダイレクトメールの送付、④Facebookでの紹介、⑤全国のしんきん職員さんを対象としたご案内など、いろいろな施策を講じていきたいと考えています。

サイト上では出展者、商品を動画で紹介することも考えておりますので、ぜひ金庫の職員さんにご協力いただき、レポートとしてご紹介いただければより効果的と思われるので、その時はどうぞよろしくお願いいたします。

第7回企画委員会・第10回システム専門委員会 合同開催

去る9月21日（水）、稚内信用金庫札幌支店において、「第7回企画委員会・第10回システム専門委員会」を合同開催いたしました。

今回の委員会は、オムロン・フィールドエンジニアリング(株)が開催する「ST会」とも日程を合わせての開催となりました。

当日は、まず企画委員会の委員長・副委員長の選出が行われ、委員長に釧路信金の渡邊専務理事が、副委員長に江差信金の田原常務理事が再任されました。その後、次の議題について話し合い、出席委員の皆様には様々な意見をあげていただき、大変活発な委員会となりました。



〈議題〉

- ・第1回事業運営委員会の模様について
- ・カード発行システムの更改について
- ・地公体との自振・振込データ持込対応について
- ・共同利用型情報系システムの更改について
- ・リアルタイム口座振替サービスについて
- ・情報交換書による意見交換
- ・その他（外国人 PEPs の取扱い等）

企画委員会 委員名簿

（敬称略）

委員長	釧路信金	専務理事	渡邊敏昭
副委員長	江差信金	常務理事	田原栄輝
委員	伊達信金	常勤理事	熊谷賢次
//	小樽信金	常務理事	三戸部正宏
//	帯広信金	常勤理事	今木啓智
//	北見信金	常勤理事	江良利晃
//	遠軽信金	専務理事	島田光隆



共同センター「事業運営委員会」への参加

去る9月14日、しんきん共同センター（品川）において、「第1回事業運営委員会」が開催され、当地区からは委員として帯広信用金庫常勤理事 今木啓智氏、客員として当社取締役 武田大二郎が出席いたしました。

本委員会は、従来行われていた「システム評議会」（主に投資額が大きいシステム開発に係る意思決定機関。委員：釧路信金専務理事 渡邊敏昭氏、客員：当社代表取締役専務 竹谷信行）と「経営対策委員会」（主に事業運営に関し、理事会を補佐する機関。委員：稚内信金元常務理事 千葉雄二氏、帯広信金常勤理事 今木啓智氏）の2委員会を、会

議体構成の見直しによりひとつに統合し、新委員会としてスタートしたものです。（原則、隔月開催）

理事長の諮問機関として、しんきん共同センターの事業計画・予算等の事業運営、投資額の大きいシステム開発の妥当性・適性等の審議を行います。

当地区で行われている「企画委員会」「システム専門委員会」では、種々の議論・検討の中で「北海道としての意見」を集約しており、ここで出た意見が、本事業運営委員会にも反映されております。

単独金庫の意見に偏らず、北海道の総意として全国に具申できるよう、今後も連携を密にしていきたいと思います。

編集後記

平素は、弊社の業務運営に格別のご高配を賜りまして、本誌面をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、7月に念願の創刊号を発刊しましたが、意外な先から「読みました」という声を聞いたりと、感想をいただくことができ、まずは発刊した甲斐があったと大変嬉しく思っております。

ほんの少数の方が気づいておりましたが、この「HSIS☆NEWS、」よく見るとタイトルの最後に読点「、」が付いております。

ある俳優さんの芸名にも、最後に読点「、」が付いている方がいらっしゃいますが、この芸名に込められた意味は、「昔の武将は一度『、』を打って決意した。『周囲に流されることなく立

ち止まり自分を見つめる』という覚悟と、『我未だ完成せず』との意味」が込められているのだそうです。

弊社も、やっと歩き始めたこれからの会社と思っております。

未来に向かって、この心意気を忘れず精進していくという決意を込めて、タイトルにそっと「、」を打ちました。

創刊号にも書きましたが、精一杯皆様のお力になれる会社を目指して業務に邁進して参りますので、弊社そして本誌のご愛読、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

編集責任者 武田 大二郎